

# たいよう

第154号 令和4年7月発行

独立行政法人地域医療機能推進機構

神戸中央病院附属介護老人保健施設

〒651-1145

神戸市北区惣山町2-1-9

TEL 078-595-2323

FAX 078-595-2717



## ♪ 5月 リコーダー リモート演奏 ♪



皆でリズムに合わせて鳴子を振ります！

～タン♪タン♪タン♪～

5月18日、リコーダー演奏グループ「FGS」の皆さんが、リモートでリコーダー演奏を披露して下さいました。まだまだ施設内でボランティアの受け入れは難しく、今回も別の場所から演奏し、中継しました。リコーダーと言っても、小さな物から身長ほどの大きな物もあり、音色を紹介しながら楽しむことができました。

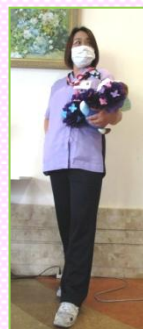
「オブラディ・オブラダ」では、利用者様が音楽に合わせて鳴子を振って音を出し、グループの皆さんと一緒に、離れた場所ながらも楽しむことができました。

### ✿ 職員の制服が変わりました ✿

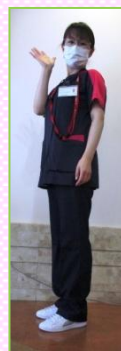
気持ち新たに！今後とも  
よろしくお願い致します。



介護福祉士  
ケアマネージャー



介護補助



看護師  
(2色)



管理栄養士

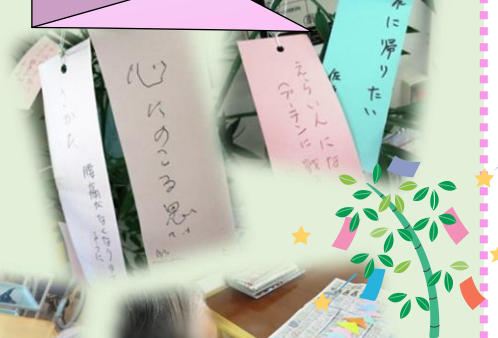


理学療法士  
作業療法士



相談員  
事務員

# 七夕飾り作り



7/6 (水) は七夕の飾りをしました。  
短冊には、ご家族の健康や、世の中の平和を願う物が多い中で、「元気になってもう一度恋をしたい!」という素敵なものや、「(ご主人に) 会いたい」と涙ぐみながら書いている方もおられました。早くその願いが届くといいですね。



## 介護ロボットのご紹介

兵庫県へ労働環境改善支援事業補助金（介護ロボット）申請を行い、移動を支援する自動車いすと、移乗を介助するスーツの2種類を購入しました。利用者様・介護する側の双方の負担の軽減を目的としています。



### 屋内型移動支援 自動ブレーキ車椅子

使用者が立ちあがると、自動でブレーキがかかります。かけ忘れにより車いすが動き、バランスを崩すなどで起こる転倒のリスクを軽減します。



### 装着型 移乗介助スーツ

介助者が装着するスーツ型のロボットです。移乗介助時に介護者の体の動きを支え、腰へかかる負担を軽減します。





# 日常生活の風景



ある日のおやつ

ご夫婦で利用中です。  
ほっこりしますね❀



この日のおやつは手作りわらびもちです。  
職員は食事介助中、手袋・エプロン・アイガードを装着。

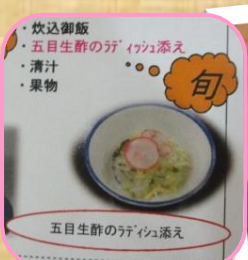


ある日のリハビリ



まず、ストレッチ後に立ち上がりの訓練をして…

歩行訓練を頑張っています。方向転換もゆっくりと慎重に足を踏み換えます。



ある日の昼食

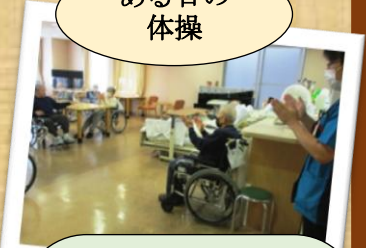


この日のメニューは旬のラディッシュを取り入れたメニューになっています。色鮮やかですね。

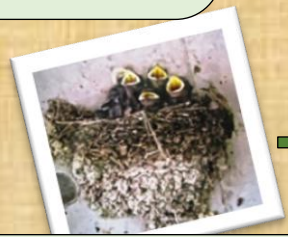


いつもおいしいよー♪  
今日は炊き込みご飯ね！

ある日の体操



体操中の様子です。利用者様が前に出て先生をしています。



老健のツバメは今年も無事巣立ちました！



## 豚肉の辛みソースかけ（4人分）



### <材料>

豚赤身スライス 200g  
(しゃぶしゃぶ用)

キャベツ 1/6個

トマト 中1個

ねぎ 適量

A { 濃口しょうゆ 大さじ2  
砂糖 小さじ1弱  
酢 大さじ1  
豆板醤 少々  
パセリ 適量

### <作り方>

- ①豚肉は熱湯に入れてボイルする。
- ②①を氷水でよく冷やし、ざるにあげておく。
- ③ボウルにAの調味料を入れ、よく混ぜ合わせソースを作る。
- ④キャベツは短冊切りにしボイルする。
- ⑤トマトはさいの目に切っておく。
- ⑥ねぎは小口切りにして③のソースに入れる。
- ⑦器に④と⑤を添え野菜にし、②を盛り付け最後に⑥をかけ、パセリを添える。

☆豚肉には疲労回復に効果のあるビタミンB1が豊富に含まれています。また、豆板醤のピリ辛は食欲増進にもつながり、夏バテ予防にも効果的です。

## お知らせ

理美容（散髪¥2000・顔剃り¥1500）

8月／1（月）2（火）3（水）4（木）5（金）

9月／1（木）2（金）5（月）6（火）7（金）

\*申し込み締切日：前月の25日まで

### 行事予定

8月 納涼会（リモート演奏）

9月 敬老会

写真は全国老人保健施設協会のキャラクター ROUKEN くんです。よろしくお祈りします♪



## 編集後記



コロナ禍で生活が一変しましたが、いつかは以前のような生活になる事を待ち望んでいました。しかし、不思議な物で今になって屋外ではマスクを外してもいいと呼びかけられても、外す事に違和を感じ、以前のような望む生活が何だったのか分からなくなります。

一步ずつですが世の中も、次のステップへ進んでおり、利用者様とも表情を見ながら会話ができる日が近づいているのかなと感じています。

（坂根）

